

令和4年2月9日

株式会社オリエンタルコンサルタンツ
代表取締役社長 野崎 秀則

河川行政マネジメント支援に向けた「DX講習会」の開催

～DXによる河川行政マネジメント支援の事例紹介～

株式会社オリエンタルコンサルタンツ（代表取締役社長 野崎秀則）は、令和4年2月2日に国土交通省 北陸地方整備局 信濃川下流河川事務所で「DX講習会」を開催しました。

「DX講習会」では、「河川管理」や「河川管理施設整備」など、河川行政マネジメントの高度化・効率化を推進するために、弊社がこれまでに取り組んだDX技術をご説明しました。

「河川管理」では、UAVを用いた空間情報技術の活用事例やAIによる最新の分析技術の活用事例を、また「河川管理施設整備」では、堤防整備に関わる施工計画の4Dシミュレーション技術などをご紹介します。

本講習会は、国土交通省 北陸地方整備局 信濃川下流河川事務所のtwitter公式アカウントにもご掲載いただいています。

今後、オリエンタルコンサルタンツは、「河川管理」や「河川管理施設整備」など河川行政マネジメントに対して、AIをはじめ最先端のDX技術を活用したご支援を展開してまいります。

<本資料に関するお問い合わせ先>
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011
URL:<https://www.oriconsul.com/>
統括本部 宮内、丸山

ご提案機能：撮影データを検索・参照する



■UAVで撮影した単画像や動画を、マップ上に配置して表示します。

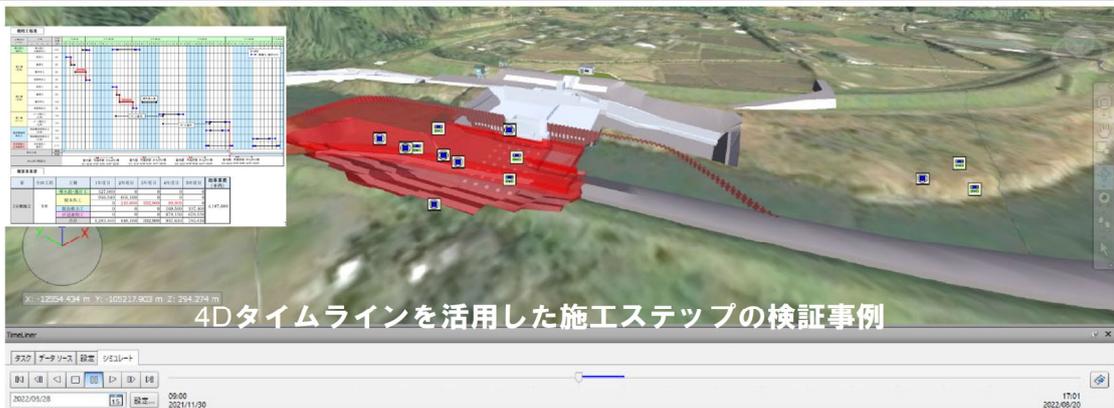


BEFORE	AFTER	効果
どこで・いつ撮影したデータが分かりづらい。(フォルダ整理等の手間がかかる)	<ul style="list-style-type: none"> ・マップと連動させて、撮影データを確認可能 ・時系列で撮影データを確認可能 	懸念箇所の撮影データの有無や時系列変化を効率的に確認し、対応判断等を迅速化に寄与

【施工段階DX】「4Dシミュレーション」による工程管理支援



活用したDX技術：BIMCIMモデル+4D工程表(3Dモデルでご説明します。)



BEFORE (業務プロセスの課題)	AFTER DX (業務プロセスの変革)	効果
<ul style="list-style-type: none"> ・半川締め切り、流路切り替え多数。仮設構造物も多数。 ・予想外の仮設工の発生 ・指定仮設に対する(発注者への)信頼性低下。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4DSYMによる締め切りの配置換を詳細に確認し、妥当性を検証。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当初計画(=積算根拠)となる施工計画の妥当性向上 ・それに伴う変更手続きの正確性向上。

「DX講習会」でのご説明資料(抜粋)